

第1学年-題材の評価規準-

時数	題材名	教材名	題材の評価規準例	
			知識・技能	思考・判断・表現
3	思いをこめて合唱しよう	校歌	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。	[思] 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
3		ふるさと	[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	
3		Let's Search For Tomorrow		
3	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	リズムゲーム、リズムアンサンブル	[知] 音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。	[思] リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。
3	曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう	My Melody	[技] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	
3	曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう	◆聖者の行進	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	[思] 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
2	曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう	◆リコーダー LESSON 1	[技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な基礎的な演奏技能を身に付け、器楽で表している。	
2	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう	○春	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	[思] 音色、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
4	イメージと音楽との関わりを感じ取ろう	○ジョーズのテーマ 他 映画音楽	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	[思] 音色、リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
6	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	合唱コンクール 各クラス曲	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。	[思] 音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
2	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	○魔王	[技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	
6	日本の民謡の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう	○日本の民謡	[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国の郷土の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	[思] 音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
3	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	ソーラン節	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	[思] 音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
3	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	浜辺の歌 (共通教材)	[知] 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。	[思] 音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
3	日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう	赤とんぼ (共通教材)	[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	
3	日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう	歌い継ごう 日本の歌		
3	日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう	○雅楽「平調 越天楽」	[知] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。	[思] 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
5	争曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	○争曲「六段の調」	[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。	[思] 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
5	争曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	◆姫松、さくらさくら (争)	[知] 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。	[思] 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
5	争曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	◆My Melody	[技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。	
5	争曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	◆My Melody	[知] 音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。	[思] 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
5	曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう	[技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。	[思] 音色、速度、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
5	曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう	大地讃頌	[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	

主体的に学習に取り組む態度

[態] 歌唱表現を創意工夫することや合唱活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

[態] 曲想と音楽の構造との関わりや音楽がもたらすイメージに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

[態] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国の郷土の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

[態] 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

[態] 日本歌曲の美しさや曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

[態] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

[態] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

[態] 箏の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

[態] 平調子による音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

題材名	題材名	題材の目標	教材名	学習内容	学習指導要領の内容																評価				
					A領域						B領域				C領域										
					歌謡	音楽	創作	音楽	鑑賞	音楽	鑑賞	音楽	鑑賞	音楽	鑑賞	音楽	鑑賞	音楽	鑑賞						
思いをこめて合唱しよう	思いをこめて合唱しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創製工夫して歌う。	校歌 ふるさと Let's search for Tomorrow	・ 協奏的な発声法や発声の扱い方について知る。 ・ 曲想と音楽の構造との関わりを感じ取りながら歌う。	○	○	○	○																3	
曲のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	曲のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	●曲のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創製工夫して歌う。	リズムゲーム、リズムアンソング My Melody	・ 協奏的なリズムについて理解する。 ・ 曲のつながり方を生かしたリズムアンソングを創作する。				○	○	○													3		
曲想を感じ取って、音楽表現を工夫しよう	曲想を感じ取って、音楽表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、それらを生かした音楽表現を創製工夫して歌う。	★聖歌行進曲 ●リコーダー LESSON 1	・ 聖歌行進曲の構造や特徴的な表現を知る。 ・ 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。					○	○	○												3		
音楽の特徴に注目しながら、演奏を思い浮かべよう	音楽の特徴に注目しながら、演奏を思い浮かべよう	●音楽の特徴に注目しながら、演奏を思い浮かべよう	○音	・ 曲想と音楽の構造との関わりについて感じ取り、理解する。 ・ 音楽のよさや美しさを味わって聴き、曲に対する評価やその価値について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。					○	○	○													2	
イメージと音楽との関わりを感じ取りよう	イメージと音楽との関わりを感じ取りよう	●イメージと音楽との関わりを感じ取り、曲や演奏に対する評価やその価値について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	○ダンスのテーマ 曲 音楽表現	・ 曲想と音楽の構造との関わりについて感じ取り、理解する。 ・ 音楽のよさや美しさを味わって聴き、曲に対する評価やその価値について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。				○	○	○	○													4	
器楽やバンドの演奏を感じ取って、音楽表現を工夫しよう	器楽やバンドの演奏を感じ取って、音楽表現を工夫しよう	●器楽や音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした音楽表現を創製工夫して歌う。	合唱コンクール 各クラス曲	・ ともに声を合わせる合唱表現のよさや美しさを味わう。 ・ 曲にふさわしい音楽表現を創製工夫する。	○	○	○																	6	
曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価やその価値について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	○魔王	・ 曲想と音楽の構造との関わりについて感じ取り、理解する。 ・ 音楽のよさや美しさを味わって聴き、曲に対する評価やその価値について自分の言葉で表現する。					○		○													2	
日本の民謡の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう	日本の民謡の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう	●日本の民謡の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	○日本の民謡 ソラン節	・ 音楽の多様性や音楽と文化や歴史との関わりについて理解する。 ・ 曲の背景と音楽の構造との関わりについて感じ取る。 ・ 曲の背景と曲想に応じた発声との関わりについて理解する。			○	○	○																6
日本の歌のよさや美しさを味わおう	日本の歌のよさや美しさを味わおう	●日本の歌のよさや美しさを味わって、音楽表現を工夫しよう	※辺の歌 (共通教材) ※とんぼ (共通教材) ※いっしょに 日本のお	・ 日本の歌のよさや美しさを味わう。 ・ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。	○	○	○																		3
日本に古くから伝わる音楽に親しみ、その魅力を味わおう	日本に古くから伝わる音楽に親しみ、その魅力を味わおう	●日本の歌のよさや美しさを味わって、音楽表現を工夫しよう	○音楽「平調 越天楽」	・ 日本伝統音楽のよさを音楽から味わう。 ・ 日本伝統音楽の特徴を知る。					○	○	○														3
音楽の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	音楽の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	●音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ●楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした音楽表現を創製工夫して歌う。 ●曲のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創製工夫して歌う。	○音楽「六段の調」 ●短尺、さくらさくら (甲) ●My Melody	・ 音楽の特徴を知り、よさや美しさを味わう。 ・ 音楽の基本的な奏法や特徴を知り、曲の美しい響きを感じながら演奏する。 ・ 平調子を使って旋律を創作し、甲で演奏する。				○	○	○															5
曲の構成や楽器の進化を生かして、音楽表現を工夫しよう	曲の構成や楽器の進化を生かして、音楽表現を工夫しよう	●曲の構成や楽器の進化を生かして、音楽表現を工夫しよう	★地謡	・ 合唱を通して声の響きのよさや美しさを味わう。 ・ 曲想の変化を生かした音楽表現を工夫する。	○	○	○																		5

題材名	教材名	題材の評価規準例		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
思いをこめて合唱しよう	校歌	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創製工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、音楽の発声、発声の扱い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、旋律、強弱を知見し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことを感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや確認もっている。	[態] 音楽表現を創製工夫することや合唱活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に合唱の学習活動に取り組もうとしている。
	Let's Search For Tomorrow	[知] 曲のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わりで理解している。 [技] 創製工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	[思] リズム、旋律を知見し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことを感受したことの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや確認もっている。	[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
器楽やバンドの演奏を感じ取って、音楽表現を工夫しよう	★聖歌行進曲 ●リコーダー LESSON 1	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 [技] 創製工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な基礎的な演奏技能を身に付け、音楽で表している。	[思] 音色、旋律、タクスチュアを知見し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことを感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや確認もっている。	[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	○音	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	[思] 音色、旋律、タクスチュア、強弱、構成を知見し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことを感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや確認もっている。	[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
日本の民謡の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう	○魔王	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創製工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、音楽の発声、発声の扱い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、旋律、タクスチュア、強弱を知見し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことを感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや確認もっている。	[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	○日本の民謡	[知] 音楽の多様性や音楽と文化や歴史との関わりについて理解している。 [技] 創製工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、音楽の発声、発声の扱い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、リズム、旋律、タクスチュア、形式を知見し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことを感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや確認もっている。	[態] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国の郷土の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性や個性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
日本の歌のよさや美しさを味わおう	※辺の歌 (共通教材) ※とんぼ (共通教材) ※いっしょに 日本のお	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創製工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、音楽の発声、発声の扱い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] リズム、旋律、強弱、形式を知見し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことを感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや確認もっている。	[態] 日本歌謡のよさや美しさを味わうことや音楽と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	○音楽「平調 越天楽」	[知] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。	[思] 音色、旋律、タクスチュアを知見し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことを感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや確認もっている。	[態] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
音楽の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	○音楽「六段の調」	[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。 [技] 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 [技] 創製工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、音楽で表している。	[思] 音色、旋律、強弱、構成を知見し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことを感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや確認もっている。	[態] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	●短尺、さくらさくら (甲) ●My Melody	[知] 曲のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わりで理解している。 [技] 創製工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	[思] 音色、旋律、強弱、構成を知見し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことを感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや確認もっている。	[態] 曲のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
曲の構成や楽器の進化を生かして、音楽表現を工夫しよう	★地謡	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創製工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、音楽の発声、発声の扱い方などの技能、全身の響きや発声部の声などを聴きながら発声と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、旋律、タクスチュア、強弱、構成を知見し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことを感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや確認もっている。	[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に合唱の学習活動に取り組もうとしている。

第2学年-音楽科年間学習指導計画-

○…鑑賞教材 ◆…器楽教材

	題材名	題材の目標	教材名	学習内容	学習指導要領の内容																	時数						
					A表現									B鑑賞				〔共通事項〕										
					歌唱			器楽			創作			鑑賞				A及びイ										
					ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	音楽を形づくっている要素												
(フ)	(イ)	(フ)	(イ)	(フ)	(イ)	(フ)	(イ)	(フ)	(イ)	(フ)	(イ)	(ウ)	(フ)	(イ)	(ウ)	音色	リズム	速度	旋律	テクニク	強弱	形式	構成	用語・記号など				
1 学 期	パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	翼をください、夢の世界を My Voice!	パートの役割を理解して合唱する。	○	○		○	○												○	○	○	○	○		2	
	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	大地讃頌	・合唱活動の楽しさを味わう。	○	○		○	○												○	○	○	○	○		2	
	合唱表現の工夫	合唱コンクール学年合唱曲	COSMOS	・曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。	○	○		○	○												○	○	○	○	○		3	
	楽曲の構成	●旋律が重なり合っていく面白さを味わおう。	フーガト短調	パイプオルガンの豊かな響きに親しむ。										○	○	○	○				○	○		○	○		2	
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して歌唱表現を工夫し、生活や社会の中の音楽の意味や役割について考えよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌い、生活や社会の中の音楽の意味や役割について考える。	時の旅人 各クラス曲	旋律の動きを理解して合唱する。 曲想の変化を生かして表情豊かに歌う。	○	○		○	○													○	○	○	○	○		5
曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	夏の思い出 (共通教材)	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。 歌詞と旋律が生み出す雰囲気味わいながら歌おう。	○	○		○	○													○	○	○	○	○		3	
2 学 期	曲想と音楽の構造との関わりを理解して歌唱表現を工夫し、生活や社会の中の音楽の意味や役割について考えよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌い、生活や社会の中の音楽の意味や役割について考える。	各クラス曲	旋律の動きを理解して合唱する。 曲想の変化を生かして表情豊かに歌う。	○	○		○	○													○	○	○	○	○		4
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	◎交響曲第5番 Ⅷ短調 指揮もしてみよう!	・曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わう。 ・曲の背景や作曲者について理解し、曲のよさや美しさを味わう。									○			○	○				○	○	○	○	○		2	
	言葉の抑揚を生かして、創作表現を工夫しよう	●音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。	My Melody	・言葉の抑揚を生かして旋律をつくる。 ・音階や言葉の特徴、音のつながり方について理解する。						○	○		○								○	○		○	○		2	
	和声的な音楽を創ろう	和音を使って簡単な作曲をする。(創作)	コンピュータ楽譜制作ソフトを使う。	・自分の気に入ったメロディーを創作する。 ・I V V I の和音進行により和音付けをする。						○	○		○									○			○	○		3
	3 学 期	音の重なり方や反復、変化を理解して、創作表現を工夫しよう	●音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。	Let's Create!	構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルを創作する。						○	○		○								○			○	○		2
世界の様々な音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう		●諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	◎世界の諸民族の音楽	世界のさまざまな声の音楽を味わおう。											○						○	○	○	○	○		2	
仲間とともに、表情豊かに合唱しよう		●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	大地讃頌	・合唱活動の楽しさを味わう。 ・曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。	○	○		○	○												○	○	○	○	○		3	

令和3年度 学習案内 (シラバス)

教科	音楽	学年	1	担当者	小番 愛紗・上野 道夫
----	----	----	---	-----	-------------

◇ 音楽科の目標

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

◇ 1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
4	リズムアンサンブルを楽しみ、 リズムの基礎を身に付ける (3時間)	10	曲想や声部の役割を考えて合唱する (6時間)
5	イメージと音楽の関わりを感じ取る (2時間) のびのびと自然な歌声で歌う (4時間)	11	曲想と音楽の関わりを理解する (4時間)
6	情景を表した音楽を味わう (2時間)	12	日本の歌の良さや美しさを味わう (2時間)
7	合唱の豊かな響きを楽しむ (5時間)	1	日本の伝統音楽に親しむ (3時間) 曲想を工夫して表現する (3時間)
8		2	地域や諸民族の音楽に親しむ (3時間)
9	リコーダーの基礎を身につけ、 表現を工夫する (3時間)	3	歌詞の内容を合唱で表現する (5時間)

◇ 評価方法

評価の観点 (身に付けたい力)		評価の方法
知識・技能	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での知識・技能課題に対する反応観察 実技発表での技能課題に対する到達度 定期テストでの知識を問う問題に対する解答
思考・判断・表現	音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での思考判断表現課題に対する反応観察と、ワークシート、楽譜への書込み内容 実技発表での思考判断表現課題に対する到達度 定期テストでの思考判断表現を問う問題に対する解答
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での主体的な活動課題に対する反応観察

◇ 学習のアドバイス

『聴く・感じ取る・考える・表現する』活動に、自分から進んで学習に取り組みましょう。そして、仲間と試行錯誤しながら、自分はこのように考え、このように表現したい、という思いをもつことが大切です。それを表現するための基礎的な技能も身に付けていきましょう。

令和3年度 学習案内 (シラバス)

教科	音楽	学年	2	担当者	上野 道夫
----	----	----	---	-----	-------

◇ 音楽科の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わりおよび音楽の多様性について理解する。
- (2) 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につける。
- (3) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (4) 主体的協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度。

◇ 1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
4	のびのびと自然な歌声で歌う (2時間)	11	楽曲の構成の特徴を聴き取ろう (2時間)
5	曲にふさわしい表現を工夫しよう (3時間)		曲にふさわしい表現の工夫をしよう (2時間)
6	楽曲の構成の特徴を聴き取ろう (3時間)	12	独唱の自由な表現を楽しもう (2時間)
7	合唱の豊かな響きを楽しもう (5時間)		和声的な音楽をつくろう (3時間)
8	合唱の表現を工夫しよう (5時間)	1	総合芸術に親しもう (2時間)
9	リコーダーの表現を工夫しよう (2時間)	2	歌詞の内容を生かす表現を工夫しよう (4時間)
10		3	

◇ 評価方法

	評価の観点 (身に付けたい力)	評価の方法
知識・技能	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での課題に対する反応観察 ・実技発表での意欲課題に対する到達度 ・定期テスト ・ワークシート、楽譜書込み
思考・判断・表現	音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での課題に対する反応観察 ・実技発表での創意工夫課題に対する到達度 ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化にしたしむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での課題に対する反応観察 ・実技発表での技能課題に対する到達度

◇ 学習のアドバイス

各題材で、『聴く・感じ取る・考える・表現する』という一連の学習の流れを意識して取り組むことで自分の中の感性が磨かれ、知識や技能が身に付きます。そして、学習したことを自分の身の回りの音楽に置き換え、一層音楽を楽しもうとする気持ちで取り組むと課題に前向きに取り組めると思います。

令和3年度 学習案内 (シラバス)

教科	音楽	学年	3	担当者	小番 愛紗
----	----	----	---	-----	-------

◇ 音楽科の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わりおよび音楽の多様性について理解する。
- (2) 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につける。
- (3) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (4) 主体的協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度。

◇ 1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
4	リズムアンサンブルを楽しむ (2時間)	11	和音進行の特徴を生かして、旋律を創作する (3時間)
5	情景を思い浮かべながら、のびのびと自然な歌声で歌う (3時間)	12	日本伝統音楽に親しむ (2時間) 多様な音楽に親しみ、その魅力を味わう (2時間)
6	作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わう (3時間)	1	曲想と音楽の構造との関わりを感じ取り、曲の良さを味わう (3時間)
7	曲にふさわしいリコーダーの表現を工夫する (4時間)	2	曲にふさわしい歌唱表現を工夫し、合唱活動の楽しさを味わう (4時間)
8	曲種に応じた豊かな発声で歌う (3時間)		
9	合唱の豊かな響きを味わい、表現を工夫する (6時間)		
10			

◇ 評価方法

	評価の観点 (身に付けたい力)	評価の方法
知識・技能	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での課題に対する反応観察 ・実技発表での技能課題に対する到達度 ・定期テスト ・ワークシート ・楽譜への書込み
思考・判断・表現	音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での課題に対する反応観察 ・実技発表での創意工夫課題に対する到達度 ・定期テスト ・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での課題に対する反応観察 ・実技発表での意欲課題に対する到達度 ・定期テスト ・ワークシート ・楽譜への書き込み

◇ 学習のアドバイス

各題材で、『聴く・感じ取る・考える・表現する』という一連の学習の流れを意識して取り組むことで自分の感性が磨かれ、知識や技能が身に付きます。そして、学習したことを自分の身の回りの音楽に置き換え、一層音楽を楽しもうとする気持ちで取り組むと課題に前向きに取り組めると思います。